

今でも使える、老舗企業の経営エッセンスをお伝えします。

5. 参加申し込み方法 下記URLの手順に従って申し込みください。

<http://www.kipc.or.jp/information/21032/>

6. 問い合わせ先 神奈川県よろず支援拠点

TEL:045-633-5071 / FAX:045-633-5194 / E-mail:yorozu@kipc.or.jp

主催 神奈川中小企業センター

151013 ホテルグランドパレス 「"超"モノづくりへの挑戦」

モノづくり日本会議は「"超"モノづくりへの挑戦をテーマに、わが国モノづくり企業の英知を結集し、モノづくり産業強化に資する活動を展開しております。記念シンポジウムの開催に先立ち「2015年"超"モノづくり部品大賞」贈賞式を行います。合わせてご参加ください。シンポジウムでは、まずモノづくり日本会議共同議長である伊藤一郎旭化成取締役会長にご挨拶いただき、今後のモノづくり産業の指針について語っていただきます。講演では、今回の"超"モノづくり部品大賞を受賞される島津製作所の鈴木悟取締役「島津製作所のモノづくり」と題してご講演いただくほか「航空技術の先端動向と航空機の市場動向」をテーマに、鈴木真二 東京大学教授にご講演いただきます。いずれのお話も、皆様のこれからのモノづくりにとって大きなヒントとなることと思います。

1. 日時 2015年10月13日(火) 13:30~17:00

2. 会場 ホテルグランドパレス

(アクセス)<https://nikkan.smartseminar.jp/cc/0m3mD90xc9Sc9q4e>

3. 参加費 無料(定員150名)

4. プログラム(詳細 <https://nikkan.smartseminar.jp/cc/0m3mD70xc9Sc9q4c>)

< 贈賞式 > 「2015年"超"モノづくり部品大賞」

< 講演 >

テーマ1 「島津製作所のモノづくり」

講師 鈴木 悟(株島津製作所 取締役 上席専務執行役員)

テーマ2 「航空技術の先端動向と航空機の市場動向」

講師 鈴木 真二(東京大学大学院教授)

5. 参加申し込み方法 下記URLより申し込みください。

<https://nikkan.smartseminar.jp/cc/0m3mDa0xc9Sc9q4f>

6. 問い合わせ先 日刊工業新聞社「モノづくり日本会議事務局」

TEL:03-5644-7608 FAX:03-5644-7209

E-mail: monodzukuri@media.nikkan.co.jp

主催 モノづくり日本会議 日刊工業新聞社

151015 ミッドタウン・タワー 「おもしろい研究者が集まるプラットフォームを作りたい！」

世の中にはたくさんの研究テーマがあり、その数だけ知的探求を続けている研究者がいる。しかし大学の外に出てしまうと、研究者が何を目的に研究をしていて成果は何なのかがわかりにくい。そのため、新しいプロジェクトの研究費を集めにくいという問題が出てきている。今回の d-labo セミナーでは、その状況を打破するために柴藤氏が立ち上げた研究者のためのクラウドファンディング・サービス「academist(アカデミスト)」を中心に、日本の研究環境の現状と問題点、解決策についてわかりやすくお話しいただく。

1. 日時 2015年10月15日(木) 19:00~21:00

2. 会場 d-labo ミッドタウン・タワー7F

(アクセス)<http://www.d-laboweb.jp/space/midtown/>

3. 参加費 無料(定員80名)
4. プログラム(詳細 <http://www.d-laboweb.jp/event/151015.html>)
< 講演 >
テーマ「おもしろい研究者が集まるプラットフォームを作りたい！」
講師 柴藤 亮介(株)エデュケーショナル・デザイン
5. 参加申し込み方法 下記URLより申し込み下さい。
<https://www.surugabank.co.jp/suruga/pc/GuestBook.do?formNo=28101&startUp=EntryStep01>
6. 問い合わせ先 d-labo ミッドタウン・タワー7F Tel.03-5411-2363
主催 d-labo ミッドタウン

151024 世田谷ボランティアセンター「私が見た世界～激動する米中日の国際関係と期待される日本のリーダーとは～」

「米国の成り立ちとケネディー大統領のキューバ危機の対処法」、「中国の大学教育と中米関係」と「太平洋とは何か」。戦前は密接な場所であったのがどうして忘れ去られたのかや「日本が良く知らない太平洋諸国と安全保障」などについて概観しつつ、ヤルタ会談、ポツダム宣言と憲法改正など現代の日本の政治も言及し、将来を話し合います。

1. 日時 2015年10月24日(土)14:00～16:00(開場13:30)
2. 会場 世田谷ボランティアセンター
(住所)世田谷区下馬2-20-14
(アクセス)<http://www.otagaisama.or.jp/access>
(電車)東急田園都市線・三軒茶屋駅 徒歩12分
3. 参加費 一般1500円/回(学生及びシニア1000円、定員50名)
4. プログラム
< ご挨拶 > 程野 美和子(NPO法人“生まれ育ちとところを学ぶサンの会”理事長)
< 講演 >
テーマ「私が見た世界～激動する米中日の国際関係と期待される日本のリーダーとは～」
講師 小松 正之(国際東アジア研究センターアジア成長研究所、客員主任研究員)
< 討論 >
講師の小松正之氏と参加の方々と、テーマ「激動する米中日の国際関係と期待される日本のリーダーとは」について討議をいたします。
5. 参加申し込み方法 参加日、氏名、所属、連絡先(住所、TEL、メール)を記入し、メール sunnokai@yahoo.co.jp 程野まで申し込み下さい。
(又は、k_tomura@mtf.biglobe.ne.jp 外村まで申し込み下さい)
当日、直接、会場の方へお越しいただいても構いません。お席の十分用意してございます。
6. 問い合わせ先 特定非営利活動法人 生まれ育ちとところを学ぶサンの会(程野)
Tel/Fax:03-3418-8807 E-mail:sunnokai@yahoo.co.jp

小松正之氏プロフィール

現職は、政策研究大学院大学客員教授・農学博士・経営学博士(MBA)1953年岩手県陸前高田市生まれ。東北大学卒業、農林省入省。エール大学経営学大学院卒業(MBA取得)在イタリア日本大使館一等書記官。国連食糧農業機関(FAO)農業農業委員会。東京大学より農学博士授与。IWC日本政府代表代理として国際捕鯨委員会13年連続出席。国連食糧農業機関(FAO)水産委員会議長、水産庁参事官、国連海洋法裁判所と国連仲裁裁判所の裁判を担当、水産総合研究センター理事、内閣府規制改革会議専門委員、財団法人日本離島センター委員、東北大地震復興会議専門委員、行政刷新会議規制改革分科会農林地域振興WG委員。2003年ブルタニカ国際年鑑人間の記録世界の50人に選ばれる。2005年ニューズウィーク日本版「世界が尊敬する日本人100人」に選ばれる。著書「クジラは食べていい(宝島新書)、これから食えなくなる魚(幻冬舎)、資源経済

学への招待(ミネルバ書房)、日本の食卓からさかなが消える(日本経済新聞出版社)、海は誰のものか(マガジンライブ社)、なぜ日本にはリーダーが居なくなったのか?(マガジンランド)『私が見た世界』他多数
主催 特定非営利活動法人 生まれ育ちとこころを学ぶサンの会
後援 メキシコ・日本友好協会

151024 早稲田大学西早稲田キャンパス 早稲田大学 航空宇宙シンポジウム「パイロットの世界」

航空宇宙産業の各種業務に従事されている現役・OBの方々の実務体験談とパネルディスカッションにより、航空宇宙産業の抱えてる諸課題について討議し、課題解決の道を探ると同時に、将来、航空宇宙産業に進路を考えている学生達への進路選択の一助とする。また、航空宇宙産業に関心を持って参加される方々の人的ネットワークを拡大をはかり、日本の航空宇宙産業の発展に寄与する、今回はその第一回目として「パイロットの世界」を取り上げる。

1. 日時 2015年10月24日(土)13:30~16:30(開場12:50)

2. 会場 早稲田大学西早稲田キャンパス 57号館201教室

(アクセス)<https://www.waseda.jp/top/access/nishiwaseda-campus>

(電車)東京メトロ副都心線”西早稲田”駅(直下)、出口は”早大理工”

(キャンパスマップ)

<http://www.waseda.jp/top/assets/uploads/2014/10/nishi-waseda-campus-map.pdf>

3. 参加費 無料(懇親会1000円、学生無料、講演者の講演概要は日ふ)

4. プログラム(総合司会 塩谷 さやか 早稲田大学非常勤講師)

開会の挨拶 鈴木 進補(早稲田大学 基幹理工学部機械科学・航空学科 教授)

< 第一部 基調講演 > 13:35~14:25

テーマ1「航空産業の現状と課題」

講師 戸崎 肇(早稲田大学 商学研究科ビジネススクール 教授)

テーマ2「プロのパイロットへの道」

講師 岩瀬 健祐(元日本航空 DC-10 機長)

— 休憩(10分) —

< 第二部 パネルディスカッション 「パイロットの世界」 > 14:35~16:25

モデレーター 岩瀬 健祐(元日本航空 DC-10 機長)

パネリスト

・桜井 玲子(社団法人 日本女性航空協会常務理事)【社用機運航とスポーツ航空】

・杉山 学(東京航空計器(株)地上訓練所長)【自衛隊操縦士の概要】

・丹治 和貴(日本航空(株)B787 乗員部室長)【Technical Pilot の役割について】

・徳永 伸広(全日本空輸(株)B787 部 副部長)【パイロット適性の今昔】

・馬場 良直(川崎重工業(株)飛行課)【テストパイロットの業務】

< 質疑応答 >

閉会の挨拶 浅川 基男(早稲田大学名誉教授、機友会会長)

5. 参加申し込み方法 お名前と所属を記入し k_tomura@mtf.biglobe.ne.jp(外村宛)へ申し込みください。また、シンポジウム(参加、不参加)、懇親会(参加、不参加)にも、○、×を付してください。

6. 問い合わせ先 航空宇宙懇話会 事務局 外村(とむら)

携帯 090-5207-6098)、メール k_tomura@mtf.biglobe.ne.jp

「懇親会」(1700~1830)

・会場 早稲田大学西早稲田キャンパス 63号館1階「ロームスクエア」

(キャンパスマップ)

<http://www.waseda.jp/top/assets/uploads/2014/10/nishi-waseda-campus-map.pdf>

・参加費 一般 1,000円、学生無料(シンポジウム受付時徴収)

主催 早稲田大学機友会 航空宇宙懇話会

151028 台東区民会館 「お客様に喜んでいただくための”おもてなし”～”心”を伝えるために知っておきたいこと、身につけておきたいマナー～」

2020年東京オリンピック開催も決まり各地へお見えになるお客様は益々増えることが予想されます。こうした追い風を逃さず「おもてなしの心」に磨きをかけ、来街者の方によりよい思い出をつくっていただき「ありがとう、またくるよ」と思っていていただくことが重要です。本講座では東京商工会議所台東支部が作成した『おもてなしハンドブック』を活用しながら『おもてなしの心のあり方』と『心の伝え方』をご説明します

1. 日時2015年10月28日(水)18:30～20:30

2. 会場 台東区民会館 8階 第2会議室

(電車)地下鉄銀座線浅草駅下車徒歩5分

(地図)<http://www.tokyo-cci.or.jp/taito/map/>

3. 参加費 無料

4. プログラム(詳細 http://event.tokyo-cci.or.jp/event_detail-66272.html)

テーマ「お客様に喜んでいただくための”おもてなし”～”心”を伝えるために知っておきたいこと、身につけておきたいマナー～」

講師 丹治 朋子(川村学園女子大学 生活創造学部 観光文化学科 教授)

内容(1)気づかい編

- ・下町のおもてなしは一人ひとりから
- ・いつもみられている意識を
- ・お客様との対話を大切に
- ・店内・店先をくまなくきれいに等

(2)おもてなし編

- ・“心”から行動・言葉へ
- ・見逃さないで！こんなサイン
- ・トラブルへの対応ポイント
- ・国境を越えた「おもてなし」等

(3)ガイド編

- ・自分自身が下町通になろう！等

5. 参加申し込み方法 下記URLより申し込み下さい。

http://event.tokyo-cci.or.jp/event_detail-66272.html

6. 問い合わせ先 東京商工会議所 台東支部

TEL: 03-3842-5031、FAX: 03-3843-1206、E-mail:taito@tokyo-cci.or.jp

主催 東京商工会議所 台東支部

151029 神奈川県産業技術センター 「インダストリー4.0/IoTフォーラム」

米国中心に普及しつつあるIoTとドイツ政府提唱のインダストリー4.0近頃産業界で話題となり、中小企業にとってもその対応が急務となっています。これらの技術革新によって、部品のみならず、デザインなど商品化の段階から海外への外注が増えると危惧されると同時に、技術力のある中小企業にとっては、国内のみならず海外への参入も容易になると考えられます。今回のフォーラムでは国に政策動向も含めて、国際規格の現状や標準化団体の活動、国内外企業の取り組みについて、それぞれの分野の専門家にご紹介いただきます。ドイツ発新たなモノづくりの潮流について多くの中小企業の皆様と考えたいと思います。

1. 日時 2015年10月29日(木) 10:00~17:10
2. 会場 神奈川県産業技術センター 2階講堂
(アクセス) <http://www.kanagawa-iri.jp/aboutcenter/center-access.html>
3. 参加費 無料
4. プログラム(詳細 http://www.kanagawa-iri.jp/2015/09/201510_koryukai.html)

< 講演 >

テーマ1 「IoT社会における我が国製造業の方向性」

講師 川森 敬太(経済産業省 ものづくり政策審議室 室長補佐)

テーマ2 「IoT/M2Mの技術標準化、業界アライアンス動向」

講師 木下 泰三(株)日立製作所IoTビジネス推進統括本部 事業主管)

テーマ3 「インダストリー4.0の国際標準化動向」

講師 小田 信二(横河電機(株) 知的財産・標準化戦略センター センター長)

テーマ4 「インダストリー4.0~ドイツが描く第四次産業革命~」

講師 川野 俊充(ベッコフオートメーション(株) 代表取締役社長)

テーマ5 「サイバー攻撃対策とインダストリー4.1Jについて」

講師 村上 正志(VEC 事務局長)

テーマ6 「モノづくりににおける問題解決のためのデータサイエンス~製造業におけるビッグデータ解析の実際~」

講師 高野 昌泰(富士ゼロックス(株) マーケティング技術研究所 シニアマネージャー)

テーマ7 「ICTを活用した次世代ものづくりへの取り組み」

講師 若菜 伸一(株)富士通研究所 ものづくり技術研究所 所長)

テーマ8 「プロセスイノベーションを実現するIoT/M2Mソリューション」

講師 北川 泰平(日本電気(株) グローバルプロダクト・サービス本部 インダストリアルIoT推進グループ)

5. 参加申し込み方法 下記URLの手順に従って申し込みください。

http://www.kanagawa-iri.jp/2015/09/201510_koryukai.html

6. 問い合わせ先 神奈川県産業技術センター 企画部研究開発連携室

電話: 046-236-1500(代表)

主催 神奈川R&D推進協議会

151101 明治大学 中野キャンパス「歩きと体のつながり」

明治大学中野キャンパスは、「社会連携」を大きな柱の一つにかかげています。昨年に引き続き公益社団法人東京都柔道整復師会中野支部と連携した講座を開講いたします。

1. 日時 2015年11月01日(日) 13:30~16:00
2. 会場 明治大学 中野キャンパス 5階ホール
(アクセス) <http://www.meiji.ac.jp/nakano/access/>
3. 参加費 無料(定員400名)
4. プログラム(詳細 <https://academy.meiji.jp/course/detail/2591/>)

< 第一部 講演 >

テーマ「姿勢で分かる性格と体質」

講師 荒川 仁(アランジ姿勢整骨院院長)

内容 姿勢のタイプ別による性格や体質の傾向から、怪我をしやすい部位、かかりやすい病気の解説、正しい姿勢とは何かを分かり易く解説します。

< 第二部 講演 >

テーマ「歩きと体のつながり」

講師 関口 勝夫(白山下接骨院院長)

内容 体には構造の特徴や機能の特性があって、自然の動きでそれらを使いながら健康を保っています。歩行

と体のつながりの大切さを様々な角度から解説します。

< 第三部 講演 >

テーマ「なぜ足がつるのか」

講師 加瀬 剛(キネシオ接骨院院長)

内容 突然襲ってくる、とても痛い足のつり。あなたはどのようにやって対処していますか?なぜ足はつるのか、どうやって予防するのかを分かり易く解説します。

(コーディネータ 野村 清(明治大学国際日本学部教授))

5. 参加申し込み方法 下記URLより申し込みください。 <https://academy.meiji.jp>

6. 問い合わせ先 明治大学リバティアカデミー 03-3296-4423

主催 公益社団法人東京都柔道整復師会中野支部

共催 明治大学リバティアカデミー

後援 中野区、中野区歯科医師会、中野区薬剤師会他

151102 建築会館「賃貸住宅再考」

戦後持家政策を推進してきた日本において、賃貸住宅の果たす役割は縮小し、公的住宅分野においては新規物件の供給がほとんどストップし、企業がもつ社宅や寮は廃止され、住宅地においては建築協定や地区計画などによって賃貸アパートの建設が禁止され、都市部においてはワンルームマンションが規制され、農村部においては農地を潰して建てた鉄骨アパートから空き家が増えている、という現象が一般的となってきた。一方で、空き家が増える中で、家を所有することだけが本当に豊かな生活を保障する唯一の選択肢かが問われることとなり、また、地域の再生にとって手軽に用途を転換することが容易で、地域に新たな息吹をもたらす可能性を秘めた賃貸住宅がテコとなっているケースが増えているのも事実である。また、リノベーションによって、社宅や寮や公的賃貸住宅すらも、シェアハウスやサービス付き高齢者向け住宅といった形の賃貸住宅に生まれ変わりつつあり、若者を地方に呼び込むための新たな賃貸住宅も必要とされている。ここに、いまひとつ賃貸住宅に焦点を当て、その可能性について再考することを、本企画の主旨としたい。

1. 日時 2015年11月02日(月)14:00~17:00

2. 会場 建築会館 301、302会議室

3. 参加費 無料(定員50名)

4. プログラム(詳細 http://www.jusoken.or.jp/test_html/symposium/sumaisympo.html)

< 趣旨説明 > 大月敏雄(東京大学大学院教授)

< 講演 >

テーマ「賃貸住宅再考」

講師 尾神充倫(独立行政法人都市再生機構)

講師 片岡八重子(株ココロエ代表/NPO法人尾道空き家再生プロジェクト)

講師 浅香充宏(フィオーレ喜連川管理組合)

5. 参加申し込み方法 下記URLより申し込み下さい。

http://www.jusoken.or.jp/test_html/symposium/sumaisympo_form.html

6. 問合せ先 一般財団法人 住総研

e-mail sumairon@jusoken.or.jp、TEL:03-3484-5381 / FAX:03-3484-5794

主催 一般財団法人 住総研

151104 東京大学大学本郷キャンパス 次世代電力ネットワーク研究会平成 27 年度シンポジウム

次世代電力ネットワーク研究会の活動につきましてご支援ご協力を賜り、誠に有り難うございます。

さて、平成 27 年度シンポジウムを下記のとおり開催致します。今回は、昨年と同様、東京大学先端電力エネルギー

一・環境技術教育研究センター(APET)様との共催で開催致します。ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご出席下さいようお願い申し上げます。お手数ではございますが、ご出席予定を別紙にてご返送下さいませ併せてお願い申し上げます。

記

1. 日時 平成 27 年 11 月 4 日(水) 13:30~17:50 (受付:13:00 開始予定)

2. 場所 東京大学 本郷キャンパス 工学部 2 号館 4 階 241 講義室 東京都文京区本郷 7-3-1

アクセス:http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_03_j.html

3. プログラム

開会挨拶 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 先端エネルギー工学専攻教授 横山 明彦氏

基調講演「電力システム改革の全体像」経済産業省 資源エネルギー庁 電力基盤整備課長 安永崇伸氏

講演 1 ~第 1 段階(2015 年 4 月)広域機関設立~「広域的運営推進機関の役割について(仮題)」

講師:電力広域的運営推進機関 理事 寺島 一希氏

講演 2 ~第 2 段階(2016 年 4 月)電力小売全面自由化~「電力小売全面自由化における JEPX の役割について(仮題)」

講師:一般社団法人 日本卸電力取引所 企画業務部長 國松 亮一 氏

休憩 15:50~16:05

講演 3 ~第 2 段階(2016 年 4 月)電力小売全面自由化~「電力小売全面自由化に向けた対応状況と課題(仮題)」

講師:東京電力(株) 執行役員カスタマーサービス・カンパニー・バイスプレジデント佐藤梨江子氏

講演 4 ~第 3 段階(2020 年 4 月)発送電分離~「発送電分離に向けた対応状況と課題(仮題)」

講師:中部電力株式会社 執行役員 系統運用部長 平岩 芳朗 氏

閉会挨拶 一般財団法人 エネルギー総合工学研究所 理事 重政 弥寿志氏

4. 出席の申込方法

【申込記載事項】

会社・組織名、出席者氏名(複数可)、所属、役職

【送 付先】一般財団法人エネルギー総合工学研究所 プロジェクト試験研究部 高部 行

Email:apnet-symposium@iae.or.jp Fax :03-3501-8021

【送付希望日】10 月 23 日(金)まで

5. 留意事項 会場は全席自由席となっておりますので、予めご了承下さい(会員専用座席

6. 主催

一般財団法人エネルギー総合工学研究所

次世代電力ネットワーク研究会 事務局

151118 早稲田大学 西早稲田キャンパス(理工学部)「大学でえるべき翼」

理工系の学生が、グローバルリーダーとして世界に羽ばたくため、学生時代に何を不得てほしいか、大学で学ぶべきことは何か、養老先生からのメッセージ。

1. 日時 2015年11月18日(水)10:45~12:15

2. 会場 早稲田大学 西早稲田キャンパス(理工学部) 63号館2階202教室

(アクセス)<https://www.waseda.jp/top/access/nishiwaseda-campus>

3. 参加費 無料

4. プログラム http://www.leading-sn.waseda.ac.jp/info/news/special_lecture_2015/

< 講演 >

テーマ「大学でえるべき翼」

講師 養老孟司(東京大学名誉教授)

モデレータ 白井裕子(早稲田大学 理工学術院 准教授)

5. 参加申し込み方法 下記URLより申し込みください。

http://www.leading-sn.waseda.ac.jp/info/news/special_lecture_2015/

6. 問い合わせ先 早稲田大学理工学術院

主催 早稲田大学 実体情報学博士プログラム

共催 早稲田大学理工学術院

151121 高エネルギー加速器研究機構「アインシュタインの一般相対性理論提唱から100年目の理論と実験」

アインシュタインが提案した宇宙定数…。それは宇宙が引力により収縮してしまうことを避けるため、アインシュタイン方程式に自らが付け加えた反発力を表す定数項のことです。しかし、後に、彼はこのアイデアを取り下げることになります。皮肉にも、宇宙観測が進んだ現在では、宇宙のエネルギーの約70%が、ダークエネルギーと呼ばれる宇宙定数のような未知のエネルギー状態によって占められ、宇宙は加速膨張していることが明らかとなってきました。そして、アインシュタインですら予言できなかった、宇宙誕生の謎と、ダークエネルギーが引き起こす驚くべき宇宙の未来の姿とは？そうした最新の宇宙論の理論を解説します。

1. 日時 2015年11月21日(土)13:30~16:00

2. 会場 高エネルギー加速器研究機構 研究本館 小林ホール

(アクセス)<https://www.kek.jp/ja/Access/>

(送迎バス)詳細は <https://www2.kek.jp/openlecture/index.html>

3. 参加費 無料(対象中学生以上、定員170名)

4. プログラム(詳細 <https://www2.kek.jp/openlecture/index.html>)

< 講演 >

テーマ1 「ブラックホールと高エネルギー宇宙」

講師 井岡 邦仁(高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 准教授)

内容 ブラックホールは全てを吸い込み、そこからは何ものも出て来られません。ところが、ブラックホールは宇宙で最も明るい天体、そして高エネルギーの加速器として観測されているのです。本講演ではブラックホールの最新の姿と謎をご紹介します。

テーマ2 「宇宙のはじまり、現在、未来」

講師 郡 和範(高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 准教授)

内容 アインシュタインが提案した宇宙定数…。それは宇宙が引力により収縮してしまうことを避けるため、アインシュタイン方程式に自らが付け加えた反発力を表す定数項のことです。しかし、後に、彼はこのアイデアを取り下げることになります。皮肉にも、宇宙観測が進んだ現在では、宇宙のエネルギーの約70%が、ダークエネルギーと呼ばれる宇宙定数のような未知のエネルギー状態によって占められ、宇宙は加速膨張していることが明らかとなってきました。そして、アインシュタインですら予言できなかった、宇宙誕生の謎と、ダークエネルギーが引き起こす驚くべき宇宙の未来の姿とは？そうした最新の宇宙論の理論を解説します。

テーマ3 「一般相対性理論の実験的検証と重力波」

講師 都丸 隆行(高エネルギー加速器研究機構 共通基盤研究施設 超伝導低温工学センター 准教授)

内容 アインシュタインの一般相対性理論は、我々の宇宙がどのようになっているのかを考えていく上でなくてはならない理論です。しかし、これが「本当に正しいのか？」は実験により確認されなければなりません。一般相対性理論がどのように実験で確認されているのか、そして何が分かっているのか、さらにはその予言から新たに拓かれると期待されている重力波天文学についてご紹介致します。

5. 参加申し込み方法 下記URLより申し込み下さい。

<https://colis.kek.jp/lenq/index.php/966914/lang-ja.html>

6. 問い合わせ先 高エネルギー加速器研究機構 企画課

TEL. 029-864-5113、FAX. 029-864-5195、Email. kouza@kek.jp

151127 日本学術会議講堂「東日本大震災による原子力発電所事故に伴う魚介類の放射能汚染の問題と今後の展望」

東京電力福島第一原子力発電所の事故が発生してから4年以上が経過した。この間、当初、沿岸魚介類に見られた高い放射性物質濃度は大幅に減少し、ほとんどのものが食品中の放射性物質の基準値を下回っているものの、福島県の本格的な漁業再開は未だ見通しが立っていない。この問題には、いわゆる風評被害も含めて種々の社会的要因が複雑に絡み合っていると考えられる。このような状況の下、本シンポジウムでは、まず、水圏および魚介類の汚染状況を明確にするため、福島県沿岸海域を中心に陸域からの影響も含めた水圏環境や、そこに生息する水生生物における放射性物質の推移に関するデータを紹介する。さらに、放射能汚染魚介類をめぐる種々の社会的背景を知るために、地元漁業従事者、流通業界、消費者などから話題提供して頂き、今後の福島県沿岸漁業の本格操業の再開に向けての議論を行う。

151127 日本学術会議講堂「東日本大震災による原子力発電所事故に伴う魚介類の放射能汚染の問題と今後の展望」

1. 日時 2015年11月27日(金)10:00~17:00

2. 会場 日本学術会議講堂

(アクセス)<http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>

3. 参加費 無料(定員250名)

4. プログラム(詳細 <http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/218-s-2-2.pdf>)

< 第一部 講演 >

テーマ1「海域の放射能汚染の実態」

講師 神田穰太(東京海洋大学大学院)

テーマ2「福島県の水産物の放射能汚染の実態」

講師 藤田恒雄(福島県水産試験場)

テーマ3「水産物の放射能汚染の実態」

講師 森田貴己(水産総合研究センター)

テーマ4「放射能汚染対策の現状と将来展望」

講師 増田尚宏(東京電力)

< 第二部 講演 >

テーマ1「福島県の試験操業の現状」

講師 柳内孝之(福島県漁業協同組合連合会)

テーマ2「福島復興へ向けての食品検査の重要性」

講師 児玉龍彦(東京大学アイソトープ総合センター)

テーマ3「非破壊放射能検査の可能性」

講師 薄 善行(古河シンチテック)

テーマ4「漁業再開後の資源管理のあり方」

講師 柴田泰宙(水産総合研究センター)

< 第三部 講演 >

テーマ1「地域経済の復興支援」

講師 八木信行(東京大学大学院農学生命科学研究科)

テーマ2「スーパーの現場から見た消費者ニーズと福島産水産物の課題」

講師 谷川 満(サミット)

テーマ3「市民と放射能問題」

講師 栗田和久(日本放送協会)

< 総合討論 > 司会 八木信行(東京大学大学院農学生命科学研究科)

5. 参加申し込み方法 何方でも参加できます。直接、会場へお越し下さい。
6. 問い合わせ先 竹内俊郎(日本学術会議連携会員) E-mail: take@kaiyodai.ac.jp
- 主催 日本学術会議食料科学委員会水産学分科会
- 共催 水産・海洋科学研究連絡協議会、日本農学アカデミー、日本水産学会他
- 後援 大日本水産会、全国漁業協同組合連合会、水産海洋学会、日本付着生物学会他

151209 日本学術会議講堂「資源・環境・エネルギー課題解決と新産業創成のための革新的科学技術開発～人工光合成研究の最前線～」

植物は太陽光エネルギーを使って、水とCO₂から酸素と有機物を作り出している。石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料、それを原料にして作られるプラスチックなどの石油化学製品も皆、有機物である。そしてこれらはすべて植物や藻類が光合成によって生み出されたものである。有機物は、燃やせば発熱することからも分かるように、エネルギーを蓄えることができる。つまり、天然の光合成では、水を原料として可視光のエネルギーでエネルギー蓄積型の化合物を作っている。それに対し、植物とは全く同じでなくとも、太陽光と水とCO₂からエネルギー蓄積型の有用な化合物をつくらうというのが、人工光合成である。特に、太陽光で水を分解して水素と酸素をつくることができれば、エネルギーとしても、物質循環の視点から見ても、非常に良い。水素は、酸素で燃焼させれば発熱して水に戻り、水素を原料にしてCO₂と反応させれば、有機物を作れる。それゆえ、もし人工光合成が実現できれば、資源をめぐる争いの多くを回避できる。「地球のエネルギー資源は偏在している。しかも資源には限りがある。一方、太陽光エネルギーはほぼ無限で、どの国にも平等に降り注ぐ。また、人工光合成はCO₂を使って有機物を作り出すので、CO₂の循環に直接寄与する。エネルギー資源の確保と地球温暖化の防止という2つ課題を一挙に解決する切り札になる。

1. 日時 2015年12月09日(水) 13:00～18:10
2. 会場 日本学術会議講堂
(アクセス) <http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>
3. 参加費 無料
4. プログラム(詳細 <http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/218-s-3-1.pdf>)
< 趣旨説明 >
テーマ「人工光合成とは、世界の研究動向」
説明 工藤 昭彦(日本学術会議連携会員、東京理科大学)
< 講演 >
テーマ1「科研費新学術領域およびJSTさきがけプロジェクトにおける人工光合成関連研究」
講師 井上 晴夫(日本学術会議連携会員、首都大学東京)
テーマ2「JST ACT-Cプロジェクトにおける人工光合成関連研究」
講師 国武 豊喜(公益財団法人北九州産業学術推進機構理事長)
テーマ3「NEDO人工光合成プロジェクトの紹介と産業界から見た人工光合成技術」
講師 瀬戸山 亨(株三菱化学)
テーマ4「官側からの視点“人工光合成による水素と有用化学物質製造”」
講師 佐山 和弘(産業技術総合研究所)
テーマ5「大学からの研究成果“光触媒材料を用いる水分解反応”」
講師 堂免 一成(東京大学)
テーマ6「産業界からの研究成果“水と二酸化炭素からギ酸を合成する人工光合成技術の現状”」
講師 森川 健志(株式会社豊田中央研究所)
5. 参加申し込み方法 お名前と所属を記入の上、メール a-kudo@rs.kagu.tus.ac.jp (工藤昭彦あて) 申し込み下さい。
6. 問い合わせ先 東京理科大学 工藤昭彦 E-mail: a-kudo@rs.kagu.tus.ac.jp
主催 日本学術会議触媒化学・化学工学分科会、文部科学省科研費新学術領域

期間定めず 補助金情報:東京都の「次世代イノベーション創出プロジェクト2020」

補助金情報をお知らせします。夏休みも終わり、皆さまそろそろ再始動をかけられる頃かと思えます。今年度の補助金も、大きな山を越した感がありますが、秋にも魅力的な補助金がたくさんあります。その1つが、先月のメルマガでもご紹介しました、東京都の「次世代イノベーション創出プロジェクト2020」です。先日、募集日程や募集要項が公表されましたので、東京都でない方には申し訳ありませんが、もう少し詳しくご紹介させて下さい。(東京都内に主たる事業所や研究開発場所がある中小企業も応募可能です。)東京都が策定した、以下の4つの成長産業分野に関する技術・製品開発が対象です。

- ・健康・スポーツ
- ・医療・福祉
- ・環境・エネルギー
- ・危機管理

さらに詳細な開発支援テーマが決まっています。(詳細は本メール本文)補助額 8,000 万円、補助率2/3、助成期間 4 年間と、都道府県の補助金とは思えないスケールの大きさと、大規模かつ長期的なプロジェクトが支援対象として想定されていることがわかります。注意点としては、量産用の設備は対象外であること、人件費は1年で500万円しか対象とならないことなどがあげられます。

販促費としては、広報費と展示会参加費が補助対象となります。大きな外注費、広報費などをかける必要がある、開発型の事業にマッチします。採択数は数件から十数件と予想されますが、今回は初めての募集ですので、比較的狙い目と思われます。当社でも力を入れていますので、開発支援テーマに合う方は、是非、お早めにご相談ください。さてそれでは、今回の補助金情報です。

全国対象の【厳選】補助金

詳しくはこちらをクリック！

<http://www.ss-kk.co.jp/お勧め補助金/全国対象のお勧め補助金/>

1. 平成 27 年度「下請中小企業・小規模事業者自立化支援対策費補助金(下請中小企業自立化基盤構築事業)」

■下請中小企業等による連携グループが行う自立化に向けた取り組みを支援します。

- (1)対象:全国
 - (2)提供/窓口:中小企業庁/各経済産業局
 - (3)予算総額:5億円
 - (4)補助上限額:2,000万円
 - (5)最高補助率:2/3
 - (6)募集期間:3次公募 平成27年8月4日から9月10日まで
- ※ 下請中小企業振興法に基づく特定下請連携事業計画の認定が要件ですが、補助金申請と同時に認定を申請することも可能です。
- ※ 1社への売上比率が20%以上であれば検討の価値あります！

2. 平成 27 年度「中小企業活路開拓調査・実現化事業」

■経済的・社会的環境の変化に対応するための中小企業の連携プロジェクトを支援します。

- (1)対象:全国
- (2)提供/窓口:中企庁/全国中小企業団体中央会
- (3)予算総額:7.1億円
- (4)補助上限額:1158.8万円
- (5)最高補助率:6/10

(6)募集期間:第2回 2次締切 平成27年8月26日から9月29日まで(なくなり次第終了)

※ 中小企業が何社か集まって新しい取り組みをするときにもらえる、有名な定番補助金です。事業組合も対象です。

※ 新分野進出の調査・戦略策定、新製品／システムの開発、国内外の展示会出展などに使えます。

3. 平成27年度「新技術開発助成」

■「独創的な新技術の実用化」をねらいとして、研究段階が終了した後の実用化を目的にした試作開発を支援します。

(1)対象:全国

(2)提供／窓口:新技術開発財団

(3)補助上限額:2,000万円

(4)最高補助率:2/3

(5)募集期間:第2次 平成27年10月1日から20日まで

※ 数少ない前払い型補助金です。技術的レベルが高くやや難関ですが、資金力のないベンチャー企業に人気がある定番の補助金です。

4. 平成27年度「ふるさと名物応援事業補助金(消費者志向型地域産業資源活用新商品開発等支援事業)」

■地域資源を活用した新商品・新サービスの開発や販路開拓に取り組む中小企業を支援します。

(1)対象:全国

(2)提供／窓口:中企庁

(3)補助上限額:500万円

(4)最高補助率:2/3

(5)募集期間:2次公募 平成27年8月3日から9月8日まで

※ 市場調査、新商品の開発、展示会の開催／出展、知的財産に関する調査などが対象です。

5. 平成27年度「新エネルギーベンチャー技術革新事業」

■再生可能エネルギー分野の重要性に着目し、中小企業等(ベンチャーを含む)が保有している潜在的技術シーズを基にした技術開発を支援します。

(1)対象:全国

(2)提供／窓口:NEDO

(3)補助上限額:A:1,000万円 B,C:5,000万円

(4)最高補助率:A,B:1/1(委託)、C:2/3

(5)募集期間:第2回:平成27年9月上旬から平成27年10月上旬まで(予定)

※ フェーズA:フィージビリティ・スタディ、フェーズB:基盤研究、フェーズC:実用化研究開発

6. 平成26年度補正「地域経済活性化に資する放送コンテンツ等海外展開支援事業費補助金」(略称:J-LOP+(ジエイロッププラス))

■日本コンテンツの字幕・吹き替え等の現地化や、国際見本市への出展や広告出稿等のプロモーションを支援します。

(1)対象:全国

(2)提供／窓口:経産省／VIPO(映像産業振興機構)

(3)予算総額:60億円

(4)最高補助率:1/2

(5)募集期間:平成27年3月16日から平成28年1月31日まで

※ 前回は約3,600件が採択されています。

※ 今回は、特に地方発コンテンツの海外発信を強化し、地域活性化につなげます。

※ 対象となるコンテンツは映像、音楽、ゲーム、出版、キャラクターなど。

※ 旅費、運営費、広報宣伝費などが補助されます。

※ 特に地域経済活性化に資すると認められる案件については2/3補助となります。

7. 平成 27 年度「中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」(略称:グループ補助金)

■東日本大震災により甚大な被害を受け、特に復興が遅れている地域を対象に中小企業等グループが行う施設の復旧等を補助します。

- (1)対象:岩手県、宮城県、福島県の特に復興が遅れている津波浸水地域又福島県の避難指示区域等
- (2)提供/窓口:中小企業庁/岩手県商工労働観光部/宮城県経済商工観光部/福島県商工労働部
- (3)予算総額:400億円
- (4)最高補助率:3/4(国1/2、県1/4)
- (5)募集期間:15次公募 平成27年9月上旬、16次公募 平成27年12月上旬

※ 昨年までは、施設・設備の復旧のみを対象としていましたが、平成27年度から、それでは事業再開や継続、売上回復等が困難な場合には、これに代えて、新分野需要開拓等を見据えた新たな取り組みも対象になりました。

(例)新商品製造ラインへの転換、新商品・サービス開発、新市場開拓調査、生産効率向上、従業員確保のための
の宿舍整備等

※ 補助率3/4。さらに、残り1/4は高度化融資(無利子)の利用が可能です。

8. 「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金(製造業等立地支援事業)」

■東日本大震災で特に大きな被害を受けた津波浸水地域、及び原子力災害により甚大な被害を受けた地域において、工場等を新增設する企業を支援します。

- (1)対象:全国の企業
- (2)提供/窓口:経産省・中企庁/みずほ情報総研
- (3)補助上限額:50億円
- (4)最高補助率:3/4
- (5)募集期間:5次 平成27年8月3日から平成27年9月30日まで
- (6)立地対象地域:青森県、岩手県、宮城県、茨城県)の沿岸部+福島県全域
- (7)対象施設:(1)工場(製造業全般) (2)物流施設 (3)コールセンター・データセンター
(4)試験研究施設 (5)知事が特に認める施設
- (8)対象経費:(1)土地取得費 (2)土地造成費 (3)建物取得費 (4)設備費
- (9)交付要件:新規地元雇用条件あり

※ 土地・建物取得費が補助対象になる補助金は非常に稀です！

東京都対象の【厳選】お勧め補助金

詳しくはこちらをクリック！

<http://www.ss-kk.co.jp/お勧め補助金/東京都対象のお勧め補助金/>

1. 平成 27 年度「次世代イノベーション創出プロジェクト 2020」

■都内中小企業を中心とした連携体が行う、技術・製品開発を大規模かつ長期にわたり支援します。

- (1)対象:東京都
- (2)提供/窓口:東京都/東京都中小企業振興公社
- (3)予算総額:8.5億円
- (4)補助上限額:8,000万円
- (5)最高補助率:2/3
- (6)予約期間:平成27年8月21日から9月25日まで
- (7)申請期間:平成27年10月1日から9日まで

※ 本社が東京都でなくとも、東京都内に主たる事業所や研究開発場所がある中小企業も対象です。

※ 助成対象期間は、平成28年1月1日から平成31年12月31日と最大4年間に渡ります。

※ 他企業・大学・研究機関との連携が条件です。

(当社は連携コーディネイトも得意としております。)

※ 東京都が策定した4つの成長産業分野(「健康・スポーツ」「医療・福祉」「環境・エネルギー」「危機管理」)の「開発支援テーマ」に沿った技術・製品開発が対象です。

＜開発支援テーマ＞

健康・スポーツ・スポーツ・健康管理に関する技術・製品の開発

医療・福祉・高齢者等の見守りに関する技術・製品の開発、介護・福祉機器に関する技術・製品開発

各種医療機器とその部品・部材に関する技術・製品の開発

環境・エネルギー・スマートエネルギーに関する技術・製品の開発、資源のリサイクルに関する技術・製品の開発

環境改善に関する技術・製品の開発

危機管理・防災・減災に関する技術・製品の開発、災害時の情報提供・収集に関する技術・製品開発

インフラメンテナンスに関する技術・製品の開発、生活の安全・安心に関する技術・製品の開発

2. 平成 27 年度「中小テナントビル省エネ改修効果見える化プロジェクト」

■都内中小テナントビルを所有する中小企業者等を対象に、省エネルギー設備の導入を支援します。

(1)対象:東京都

(2)提供/窓口:東京都/東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)

(3)補助上限額:2,000 万円

(4)最高補助率:1/2

(5)募集期間:第 3 回 平成 27 年 10 月 1 日から平成 28 年 1 月 15 日まで

※ 今回が最終公募です。お見逃しなく!

※ 都内に中小テナントビルを所有する中小企業者等が対象です。

東京都に本社や事業所がない企業でも対象になります。

※ 設備費と工事費が補助されます。(工事費は設備費の 20%以内)

※ 対象設備の例 LED証明設備(必須)

高効率パッケージ空調機、高効率熱源機器、高効率照明器具

人感センサや昼光利用センサなどの証明制御 など

3. 平成 27 年度「地域資源活用イノベーション創出助成事業(地域中小企業応援ファンド)」

■地域の魅力向上や課題解決を目指す中小企業の、意欲とアイデアに溢れた新たなビジネスプランを支援します。

(1)対象:東京都

(2)提供/窓口:東京都/東京都中小企業振興公社

(3)補助上限額:800 万円

(4)最高補助率:1/2

(5)予約期間:第 2 回 平成 27 年 8 月 27 日から平成 27 年 10 月 30 日まで

(6)申請期間:第 2 回 平成 27 年 11 月 9 日から平成 27 年 11 月 13 日まで

※ 対象事業:

(1)都市課題解決型ビジネス

・地域の福祉、安全・安心等、大都市に顕著な諸課題解決への取り組み等

(2)地域資源活用型ビジネス

・都内の産地の技術、農林水産物、観光資源を活用した取り組み等

※ 平成 20 年度以来、286 件の多彩な事業が選定されています。

※ サービス業でも比較的獲得しやすい、補助金初心者向けの補助金です。

4. 平成 27 年度「成長産業分野の海外展開支援事業」

■成長産業分野の優れた技術・製品等の海外への販路開拓を支援します。

(1)対象:東京都

(2)提供/窓口:東京都/東京都中小企業振興公社

(3)補助上限額:300 万円

(4)最高補助率:1/2

考えていきたいと思っています。

1. 日時 2015年10月17日(土)14:00~15:30
 2. 会場 :明治大学 中野キャンパス 5階ホール
(アクセス)<http://www.meiji.ac.jp/nakano/access/>
 3. 参加費 無料(定員400名)
 4. プログラム(詳細 <https://academy.meiji.jp/course/detail/2583/>
< 講演 >
テーマ「コンテンツは民主化をめざす～表現のためのメディア技術～」
講師 宮下 芳明(明治大学総合数理学部先端メディアサイエンス学科 教授)
 5. 参加申し込み方法 下記URLより申し込みください。 <https://academy.meiji.jp>
 6. 問い合わせ先 明治大学 リバティアカデミー事務局
TEL:03-3296-4423 FAX:03-3296-4542、academy@mics.meiji.ac.jp
- 主催 明治大学 リバティアカデミー
後援 中野区、J:COM 中野
協力 明治大学出版会

151021 銀座会議室(三丁目)「平成28年度 経済産業政策の重点」

来年度の「経済産業省重点施策」について、下記要領により説明会を開催いたしますので、是非、この機会に多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

1. 日時 2015年10月21日(水)14:00~15:30
 2. 会場 銀座会議室(三丁目) 2階A室 松屋アネックスビル
(アクセス)<http://www.kamipa-kaikan.co.jp/ginza/html/map3.html>
 3. 参加費 無料
 4. プログラム(詳細 <http://www.chosakai.or.jp/seminar/2015seminar/20151021.htm>
< 講演 >
テーマ「平成28年度 経済産業政策の重点」
講師 武田 伸二郎(経済産業省 大臣官房 総務課課長補佐(政策企画委員))
 5. 参加申し込み方法 下記事項を記入の上、メール seminar@chosakai.or.jp (宛先 一般財団法人 経済産業調査会 業務部)へ申し込みください。
①説明会名、②ご所属名、③部署名、④お名前、⑤電話番号、⑥Eメール
 6. 問い合わせ先 一般財団法人 経済産業調査会 業務部
TEL:03-3535-4881、FAX:03-3535-4884
E-mail:seminar@chosakai.or.jp
- 主催 一般財団法人 経済産業調査会、一般財団法人 産業人材研修センター

151021~ 京都大学 東京オフィス 「"家族"はどこへ行く？」

このたび、京都大学東京オフィスにて、連続講演会「東京で学ぶ 京大の知」シリーズを開催します。私たちの多くは、何らかの形で「家族」の一員です。世の中には、無数の「家族」があり、さまざまな「家族」の役割や形があります。今回は、家庭での教育や役割の変化、雇用社会との関わり、さらに多様化する「家族」の事例として事実婚や同性婚まで踏み込み、政策や時代、国際比較をからめながら多角的に「家族」に迫ります。今、あらためて「家族」を見つめてみることで、私たちの暮らしや世の中、そして「これから」にきっと新たな発見があるはずです。

1. 日時 2015年10月14日(水) 18:30~20:00

2015年10月21日(水) 同上

2015年10月28日(水) 同上

2015年11月04日(水) 同上

2. 会場 京都大学 東京オフィス

(アクセス)

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/event/2015/ja/tokyo-office/about/access.html

3. 参加費 無料(定員、毎回100名)

4. プログラム(詳細)

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/event/2015/151104_1445.html

—2015年10月14日(水) 18:30~20:00—

< 講演 >

テーマ「教育家族のゆくえ～愛護され、教育される子どもたち～」

講師 小山 静子(京都大学 国際高等教育院・教授)

内容 教育家族とは、親が子どもの教育に熱心に取り組む家族のことをさします。このような家族は、現代人にとっては「当たり前」のものですが、どのようにして生まれ、今どこに向かっているのか、考えたいと思います。

—2015年10月21日(水) 18:30~20:00—

< 講演 >

テーマ「あれも“家族”、これも“家族”～多様化する“家族”と家族政策～」

講師 伊藤 公雄(京都大学 文学研究科・教授)

内容 社会の変化のなかで家族の形が多様化し、事実婚や同性婚など、これまでにない「家族」も生まれています。イタリアやフランスなどと比較しつつ、日本の家族の過去・現在・未来について、家族政策とからめつつ考えてみようと思います。

—2015年10月28日(水) 18:30~20:00—

< 講演 >

テーマ「縮小する日本らしさ～ライフコースと家族の40年～」

講師 岩井 八郎(京都大学 教育学研究科・教授)

内容 1970年代半ば以降の40年間は、日本の家族のユニークさが浮き彫りになった20年間と、それが失われてきた20年間に分けられます。女性の雇用労働化、若者層の経歴の不安定化など、最近の実証研究の成果とともに家族のこれからを考えます。

—2015年11月04日(水) 18:30~20:00—

< 講演 >

テーマ「ワーク・ライフ・バランス～家族の問題、それとも社会の問題?～」

講師 久本 憲夫(京都大学 公共政策連携研究部・教授)

内容 ワーク・ライフ・バランスという言葉は一般化しましたが、その実現はほど遠いままです。家族を形成しない人も増える現代において、容易なことではありませんが、家族と雇用社会の在り方を考え直してみたいと思います。

5. 参加申し込み方法 下記URLの手順に従って申し込み下さい。(申し込み期限10月5日)

<https://reg26.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=lip-mjket-f0a5aaf5a390a045ee281d34728965b9>

6. 問い合わせ先 京都大学 東京オフィス

Tel: 03-5479-2220、Fax: 03-5479-2221、E-mail: t-office@www.adm.kyoto-u.ac.jp

主催 京都大学

151024 横浜市中央図書館「水素が拓く再生可能エネルギーの未来」

地球温暖化を抑制するためには再生可能エネルギーの導入量を大幅に高めなければなりません。しかし、風力な

どは場所によって偏在するため、大規模にエネルギーを貯蔵、輸送する技術が必須です。水素は天然に産出しない二次エネルギーですが、様々なエネルギー源から製造することが可能です。今回の講座では、再生可能エネルギーを用いて水素を製造・貯蔵・輸送するためのエネルギー変換技術について解説します。

1. 日時 2015年10月24日(土) 14:00~16:00
2. 会場 横浜市中央図書館5階第1会議室
(アクセス) <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/library/chiiki/central/central-access.html>
3. 参加費 無料(定員40名)
4. プログラム(詳細 <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/library/chosa/librarycafe.html#suiso>)

< 講演 >

テーマ「水素が拓く再生可能エネルギーの未来」

講師 光島 重徳(横浜国立大学 大学院工学研究院/先端科学高等研究院 教授)

5. 参加申し込み方法 下記事項を記入して、メール ky-libevent@city.yokohama.jp へ申し込みください。

①講座名、②氏名、③電話番号

6. 問い合わせ先 横浜市中央図書館 電話(045-262-7336)

共催 横浜市温暖化対策統括本部

151024 日本学術会議講堂「求められる脳とこころの科学～教育・医療・モノづくり～」

日本学術会議では、学術の成果を国民に還元するための活動として、日本学術会議主催の公開講演会を開催しています。この他、分野別委員会などが中心となり、学術研究団体との連携の下に、各種の学術上の問題をとらえて、積極的にシンポジウムなどを開催しています。これまでの「モノづくり」は、効率的で安価な大量生産、そして便利を追求することがコンセプトであり、数多くのすぐれた「モノ」が創り出されてきました。最新の脳科学を用いて、人と人、人とモノを、感性(こころ)でつなぐ Brain Emotion ... このBEIが実現できれば、衣・食・住、移動体(クルマなど)、教育、医療といった多様な分野において、大きな社会変革が起こるのではないのでしょうか。講演会・シンポジウムの聴講につきましては一般の方の参加も受け付けております。皆様のご参加をお待ちしております。詳しくは各担当まで照会願います。

1. 日時 2015年10月24日(土) 14:00~17:30
2. 会場 日本学術会議講堂
(アクセス) <http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>
3. 参加費 無料(定員300名)
4. プログラム(詳細 <http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/214-s-2-4.pdf>)

< 第一部 教育と「脳とこころ」 >

テーマ1 「健やかな脳の発生・発達と脂質」

講師 大隅 典子(東北大学大学院発生発達神経科学・教授)

テーマ2 「こころの発達とワーキングメモリー」

講師 荻阪 満理子(大阪大学大学院人間科学研究科・教授)

< 第二部 医療と「脳とこころ」 >

テーマ1 「脳科学からみたうつ病の診断と治療」

講師 山脇 成人(広島大学大学院精神神経医科学・教授)

テーマ2 「アルツハイマー病:超早期の診断と治療をめざして」

講師 岩坪 威(東京大学大学院神経病理学・教授)

< 第三部 モノづくりと「脳とこころ」 >

テーマ1 「脳ダイナミクスとロボット」

講師 川人 光男(ATR脳情報研究所・所長)

テーマ2 「脳科学とビックデータからモノづくりへ」

151010 日本学術会議「高レベル放射性廃棄物の処分に関する政策提言～国民的合意形成へ向けた暫定保管～」

平成27年4月28日に公表された提言「高レベル放射性廃棄物の処分に関する政策提言～国民的合意形成へ向けた暫定保管～」は、公表に至る前から大きな社会的関心を生んだ。特に今回、平成24年に原子力委員会委員長への回答で、高レベル放射性廃棄物政策の抜本的見直しを提言したが、回答の内容をより具体的な政策へと先に進めることで、改めて、政府に改善を促す対応を試みた。今回の政策提言をベースに多様な立場からの議論をシンポジウム形式で実施する。

151010 日本学術会議「高レベル放射性廃棄物の処分に関する政策提言～国民的合意形成へ向けた暫定保管～」

1. 日時 2015年10月10日(土)13:00～18:00

2. 会場 日本学術会議 講堂

(アクセス) <http://maedam.iis.u-tokyo.ac.jp/20131101gakujutsukaigisymposium/map.html>

3. 参加費 無料(定員300名)

4. プログラム(詳細 <http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/214-s-1010.pdf>)

< 第一日 基調報告 >

テーマ「高レベル放射性廃棄物の処分に関する政策提言」について

報告 今田 高俊(日本学術会議連携会員、東京工業大学名誉教授、統計数理研究所客員教授)

< 第二部 基調講演 >

テーマ「高レベル放射性廃棄物の処分に関する政策提言について」

講師 鈴木 達治郎(長崎大学核兵器廃絶研究センター長・教授、元内閣府原子力委員会委員長代理)

講師 吉岡 斉(日本学術会議連携会員、九州大学大学院比較社会文化研究院教授、原子力市民委員会座長)

講師 千木良 雅弘(日本学術会議特任連携会員、京都大学防災研究所教授)

講師 寿楽 浩太(東京電機大学未来科学部人間科学系助教)

< 第三部 パネルディスカッション >

テーマ1 暫定保管の方法と期間

テーマ2 事業者の発生責任と将来世代への責任、

テーマ3 最終処分に向けた立地候補地とリスク評価

テーマ4 合意形成へ向けた組織体制

コーディネーター 柴田 徳思(日本学術会議連携会員、日本アイソトープ協会専務理事)

パネリスト

・鈴木 達治郎(長崎大学核兵器廃絶研究センター長・教授、元内閣府原子力委員会委員長代理)

・吉岡 斉(日本学術会議連携会員、九州大学大学院比較社会文化研究院教授、原子力市民委員会座長)

・千木良 雅弘(日本学術会議特任連携会員、京都大学防災研究所教授)

・寿楽 浩太(東京電機大学未来科学部人間科学系助教)鈴木達治郎(前出)、

・長谷川 公一(日本学術会議特任連携会員、東北大学大学院文学研究科教授)

< 第四部 総括 >

総括 山地 憲治(日本学術会議連携会員、地球環境産業技術研究機構理事・研究所長)

5. 参加申し込み方法 下記URLより申し込みください。

<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>

6. 問合せ先 :日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当

TEL:03-3403-6295 FAX:03-3403-1260

151015 三鷹ネットワーク大学「地下鉄の新しい技術」

「ヒッグス粒子」「宇宙のスプライト」「深海のダイオウイカ」など、科学の世界にはこれまで知られていなかった驚きの事実がたくさんあります。また、日常生活のなかにも科学の眼を通してみると、まったく新しい視点がひらけてくるよ

うなできごとが数多く散らばっています。こうした誰にも興味が持てるような題材を選んで、その核心にわかりやすくせまっていこうというのが、この講座のねらいです。講師の方々と気軽にディスカッションをしてください。現在の東京で交通機関としてもっとも親しまれ利用されているのが地下鉄です。網の目のような路線の制御や、大量輸送が可能になるのも、地下鉄が、総合技術としての鉄道システムによって支えられているからです。ここでは、東京メトロにおける鉄道システムを構成する各技術要素の概要と、各技術要素の連携について現況を紹介します。

1. 日時 2015年10月15日(木) 19:00~20:30
2. 会場 三鷹ネットワーク大学
(アクセス) <https://www.kouza.mitaka-univ.org/info/access.html>
3. 参加費 500円(定員50名)
4. プログラム(詳細 <https://www.kouza.mitaka-univ.org/kouza/C1551200>)
< 講演 >
テーマ
講師 村尾 公一(東京地下鉄株) 常務取締役、首都大学東京客員教授)
5. 参加申し込み方法 下記URLより申し込みください。
<https://www.kouza.mitaka-univ.org/members/login>
6. 問い合わせ先 三鷹ネットワーク大学 TEL 0422-40-0313 、FAX 0422-40-0314
主催 三鷹ネットワーク大学

151017 三鷹ネットワーク大学「高齢者のアルコールとの上手な付き合い方—アルコール性認知症について」
適度な飲酒は体に良いといわれますが高齢者の約15%に飲酒が関連した健康問題があります。1日あたり日本酒で3合を越える飲酒量で認知症になりやすくなります。頭部MRIをみると萎縮が進み、脳梗塞の数が増えます。退職後に飲酒量が増えてしまうケースがあります。「節度ある適度な飲酒」とは社会的活動の参加や仕事の継続など生きがいのある生活と共にあるものであり、さびしいから、することがないから飲むといった生活を破綻させる飲酒にはないのです。

1. 日時 2015年10月17日(土) 14:00~15:30
2. 会場 三鷹ネットワーク大学
(アクセス) <https://www.kouza.mitaka-univ.org/info/access.html>
3. 参加費 無料(定員100名)
4. プログラム(詳細 http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/society/opened/27/1017_matsui.html)
< 講演 >
テーマ「高齢者のアルコールとの上手な付き合い方~アルコール性認知症について~」
講師 松井 敏史(杏林大学医学部高齢医学 准教授)
5. 参加申し込み方法 何方でも参加できます。直接、会場へお越し下さい。
6. 問い合わせ先 杏林大学 広報・企画調査室 tel.0422-44-0611
主催 杏林大学

151028 明治大学 駿河台キャンパス「創業10年で売上365億円の軌跡!・From・Japan で日本企業が躍動! ~ BOPビジネス最前線~」

現在、ビィ・フォアード社が輸出する年間12万6000台の中古自動車のほぼすべてが新興国へ輸出されており、そのうち7割をアフリカ市場が占めています。最初は1台の輸出から始まった当時は、もちろんアフリカのAの字も知らず、チャレンジと失敗の繰り返しでした。今では月間6000万PVを超える自社ECサイトの閲覧数が、ウィキペディアの閲覧数を上回る国も数カ国あるほどの販売力を持つまでに成長。その秘訣を、リアルな体験談と共に語ります。山

～一部の選択的な個人消費関連産業には、力強さも～

- 150907 東京大学 本郷キャンパス 「“イノベーション×ICT社会×人材”～これからの10年間、新産業を創出するICT人材に求められること ～」
- 150908 神奈川県産業技術センター 「ロボット研究会フォーラム～箱根大涌谷でのロボット技術活用の可能性～」
- 150914 科学技術振興機構 「安倍談話と日中関係」
- 150914 大田区産業プラザ 「社会実装を目指したロボット技術」
- 150917 ミッドタウン・タワー 22世紀の“健康”はどうなっているのか!?!～人工知能が描く未来～」
- 150918 みなとパーク芝浦 リーブラホール 「次世代デジタルコンテンツが拓く新ビジネス創出セミナー2015」
- 150919 品川区立総合区民会館「きゅりあん」 「DNAから見た日本人の起源」
- 150926 世田谷ボランティアセンター 「新渡戸稲造の瞑想・沈黙」
- 150926 練馬区 区民・産業プラザ 「手助け装着型ロボット～マッスル(筋力)スーツ!～」
- 150928 銀座会議室(三丁目) 「“中小企業需要創生法”について～官公需についての中小企業者の受注の確保に関する法律等の一部を改正する法律～」
- 150930 東京コンファレンスセンター・品川 「日本のサービスロボット事業の現状と可能性」
- 151001 銀座会議室(三丁目) 「平成27年度 経済財政白書」

詳細

期間定めず 補助金情報:東京都の「次世代イノベーション創出プロジェクト2020」

補助金情報をお知らせします。夏休みも終わり、皆さまそろそろ再始動をかけられる頃かと思います。今年度の補助金も、大きな山を越した感がありますが、秋にも魅力的な補助金がたくさんあります。その1つが、先月のメルマガでもご紹介しました、東京都の「次世代イノベーション創出プロジェクト2020」です。先日、募集日程や募集要項が公表されましたので、東京都でない方には申し訳ありませんが、もう少し詳しくご紹介させて下さい。(東京都内に主たる事業所や研究開発場所がある中小企業も応募可能です。)東京都が策定した、以下の4つの成長産業分野に関する技術・製品開発が対象です。

- ・健康・スポーツ
- ・医療・福祉
- ・環境・エネルギー
- ・危機管理

さらに詳細な開発支援テーマが決まっています。(詳細は本メール本文)補助額 8,000 万円、補助率2/3、助成期間 4 年間と、都道府県の補助金とは思えないスケールの大きさと、大規模かつ長期的なプロジェクトが支援対象として想定されていることがわかります。注意点としては、量産用の設備は対象外であること、人件費は1年で500万円しか対象とならないことなどがあげられます。

販促費としては、広報費と展示会参加費が補助対象となります。大きな外注費、広報費などをかける必要がある、開発型の事業にマッチします。採択数は数件から十数件と予想されますが、今回は初めての募集ですので、比較的狙い目と思われます。当社でも力を入れていますので、開発支援テーマに合う方は、是非、お早めにご相談ください。さてそれでは、今回の補助金情報です。

全国対象の【厳選】補助金

詳しくはこちらをクリック!

<http://www.ss-kk.co.jp/お勧め補助金/全国対象のお勧め補助金/>

1. 平成 27 年度「下請中小企業・小規模事業者自立化支援対策費補助金(下請中小企業自立化基盤構築事業)」

■下請中小企業等による連携グループが行う自立化に向けた取り組みを支援します。

- (1)対象:全国
- (2)提供/窓口:中小企業庁/各経済産業局
- (3)予算総額:5億円
- (4)補助上限額:2,000万円
- (5)最高補助率:2/3

(6)募集期間:3次公募 平成27年8月4日から9月10日まで

※ 下請中小企業振興法に基づく特定下請連携事業計画の認定が要件ですが、補助金申請と同時に認定を申請することも可能です。

※ 1社への売上比率が20%以上であれば検討の価値あります！

2. 平成27年度「中小企業活路開拓調査・実現化事業」

■経済的・社会的環境の変化に対応するための中小企業の連携プロジェクトを支援します。

(1)対象:全国

(2)提供/窓口:中企庁/全国中小企業団体中央会

(3)予算総額:7.1億円

(4)補助上限額:1158.8万円

(5)最高補助率:6/10

(6)募集期間:第2回 2次締切 平成27年8月26日から9月29日まで(なくなり次第終了)

※ 中小企業が何社か集まって新しい取り組みをするときにもらえる、有名な定番補助金です。事業組合も対象です。

※ 新分野進出の調査・戦略策定、新製品/システムの開発、国内外の展示会出展などに使えます。

3. 平成27年度「新技術開発助成」

■「独創的な新技術の実用化」をねらいとして、研究段階が終了した後の実用化を目的にした試作開発を支援します。

(1)対象:全国

(2)提供/窓口:新技術開発財団

(3)補助上限額:2,000万円

(4)最高補助率:2/3

(5)募集期間:第2次 平成27年10月1日から20日まで

※ 数少ない前払い型補助金です。技術的レベルが高くやや難関ですが、資金力のないベンチャー企業に人気がある定番の補助金です。

4. 平成27年度「ふるさと名物応援事業補助金(消費者志向型地域産業資源活用新商品開発等支援事業)」

■地域資源を活用した新商品・新サービスの開発や販路開拓に取り組む中小企業を支援します。

(1)対象:全国

(2)提供/窓口:中企庁

(3)補助上限額:500万円

(4)最高補助率:2/3

(5)募集期間:2次公募 平成27年8月3日から9月8日まで

※ 市場調査、新商品の開発、展示会の開催/出展、知的財産に関する調査などが対象です。

5. 平成27年度「新エネルギーベンチャー技術革新事業」

■再生可能エネルギー分野の重要性に着目し、中小企業等(ベンチャーを含む)が保有している潜在的技術シーズを基にした技術開発を支援します。

(1)対象:全国

(2)提供/窓口:NEDO

(3)補助上限額:A:1,000万円 B,C:5,000万円

(4)最高補助率:A,B:1/1(委託)、C:2/3

(5)募集期間:第2回:平成27年9月上旬から平成27年10月上旬まで(予定)

※ フェーズA:フィージビリティ・スタディ、フェーズB:基盤研究、フェーズC:実用化研究開発

6. 平成26年度補正「地域経済活性化に資する放送コンテンツ等海外展開支援事業費補助金」(略称:J-LOP+(ジ

エイロッププラス))

■日本コンテンツの字幕・吹き替え等の現地化や、国際見本市への出展や広告出稿等のプロモーションを支援します。

- (1)対象: 全国
- (2)提供/窓口: 経産省/VIPO(映像産業振興機構)
- (3)予算総額: 60 億円
- (4)最高補助率: 1/2
- (5)募集期間: 平成 27 年 3 月 16 日から平成 28 年 1 月 31 日まで

- ※ 前は約 3,600 件が採択されています。
- ※ 今回は、特に地方発コンテンツの海外発信を強化し、地域活性化につなげます。
- ※ 対象となるコンテンツは映像、音楽、ゲーム、出版、キャラクターなど。
- ※ 旅費、運営費、広報宣伝費などが補助されます。
- ※ 特に地域経済活性化に資すると認められる案件については2/3補助となります。

7. 平成 27 年度「中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」(略称:グループ補助金)

■東日本大震災により甚大な被害を受け、特に復興が遅れている地域を対象に中小企業等グループが行う施設の復旧等を補助します。

- (1)対象: 岩手県、宮城県、福島県の特に復興が遅れている津波浸水地域又福島県の避難指示区域等
- (2)提供/窓口: 中小企業庁/岩手県商工労働観光部/宮城県経済商工観光部/福島県商工労働部
- (3)予算総額: 400 億円
- (4)最高補助率: 3/4(国1/2、県1/4)
- (5)募集期間: 15 次公募 平成 27 年 9 月上旬、16 次公募 平成 27 年 12 月上旬

※ 昨年までは、施設・設備の復旧のみを対象としていましたが、平成 27 年度から、それでは事業再開や継続、売上回復等が困難な場合には、これに代えて、新分野需要開拓等を見据えた新たな取り組みも対象になりました。

(例)新商品製造ラインへの転換、新商品・サービス開発、新市場開拓調査、生産効率向上、従業員確保のための
の宿舎整備等

※ 補助率3/4。さらに、残り1/4は高度化融資(無利子)の利用が可能です。

8. 「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金(製造業等立地支援事業)」

■東日本大震災で特に大きな被害を受けた津波浸水地域、及び原子力災害により甚大な被害を受けた地域において、工場等を新增設する企業を支援します。

- (1)対象: 全国の企業
- (2)提供/窓口: 経産省・中企庁/みずほ情報総研
- (3)補助上限額: 50 億円
- (4)最高補助率: 3/4
- (5)募集期間: 5 次 平成 27 年 8 月 3 日から平成 27 年 9 月 30 日まで
- (6)立地対象地域: 青森県、岩手県、宮城県、茨城県)の沿岸部+福島県全域
- (7)対象施設: (1)工場(製造業全般) (2)物流施設 (3)コールセンター・データセンター
(4)試験研究施設 (5)知事が特に認める施設
- (8)対象経費: (1)土地取得費 (2)土地造成費 (3)建物取得費 (4)設備費
- (9)交付要件: 新規地元雇用条件あり

※ 土地・建物取得費が補助対象になる補助金は非常に稀です！

東京都対象の【厳選】お勧め補助金

詳しくはこちらをクリック！

<http://www.ss-kk.co.jp/お勧め補助金/東京都対象のお勧め補助金/>

1. 平成 27 年度「次世代イノベーション創出プロジェクト 2020」

■都内中小企業を中心とした連携体が行う、技術・製品開発を大規模かつ長期にわたり支援します。

(1)対象:東京都

(2)提供/窓口:東京都/東京都中小企業振興公社

(3)予算総額:8.5億円

(4)補助上限額:8,000万円

(5)最高補助率:2/3

(6)予約期間:平成27年8月21日から9月25日まで

(7)申請期間:平成27年10月1日から9日まで

※ 本社が東京都でなくとも、東京都内に主たる事業所や研究開発場所がある中小企業も対象です。

※ 助成対象期間は、平成28年1月1日から平成31年12月31日と最大4年間に渡ります。

※ 他企業・大学・研究機関との連携が条件です。

(当社は連携コーディネートも得意としております。)

※ 東京都が策定した4つの成長産業分野(「健康・スポーツ」「医療・福祉」「環境・エネルギー」

「危機管理」)の「開発支援テーマ」に沿った技術・製品開発が対象です。

<開発支援テーマ>

健康・スポーツ・スポーツ・健康管理に関する技術・製品の開発

医療・福祉・高齢者等の見守りに関する技術・製品の開発、介護・福祉機器に関する技術・製品開発

各種医療機器とその部品・部材に関する技術・製品の開発

環境・エネルギー・スマートエネルギーに関する技術・製品の開発、資源のリサイクルに関する技術・製品の開発

環境改善に関する技術・製品の開発

危機管理・防災・減災に関する技術・製品の開発、災害時の情報提供・収集に関する技術・製品開発

インフラメンテナンスに関する技術・製品の開発、生活の安全・安心に関する技術・製品の開発

2. 平成27年度「中小テナントビル省エネ改修効果見える化プロジェクト」

■都内中小テナントビルを所有する中小企業者等を対象に、省エネルギー設備の導入を支援します。

(1)対象:東京都

(2)提供/窓口:東京都/東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)

(3)補助上限額:2,000万円

(4)最高補助率:1/2

(5)募集期間:第3回 平成27年10月1日から平成28年1月15日まで

※ 今回が最終公募です。お見逃しなく!

※ 都内に中小テナントビルを所有する中小企業者等が対象です。

東京都に本社や事業所がない企業でも対象になります。

※ 設備費と工事費が補助されます。(工事費は設備費の20%以内)

※ 対象設備の例 LED証明設備(必須)

高効率パッケージ空調機、高効率熱源機器、高効率照明器具

人感センサや昼光利用センサなどの証明制御 など

3. 平成27年度「地域資源活用イノベーション創出助成事業(地域中小企業応援ファンド)」

■地域の魅力向上や課題解決を目指す中小企業の、意欲とアイデアに溢れた新たなビジネスプランを支援します。

(1)対象:東京都

(2)提供/窓口:東京都/東京都中小企業振興公社

(3)補助上限額:800万円

(4)最高補助率:1/2

(5)予約期間:第2回 平成27年8月27日から平成27年10月30日まで

(6)申請期間:第2回 平成27年11月9日から平成27年11月13日まで

※ 対象事業:

(1)都市課題解決型ビジネス

150910 文京シビックセンター「世界経済・日本経済の見通し」

151002 京都大学東京オフィス「情報社会の教育を考える」

151003 大隈記念講堂「亀裂の走る世界の中で～地域研究からの問い～」